
キヤノン株式会社

2019年第3四半期 決算説明会

2019年10月28日

代表取締役副社長 CFO 田中 稔三

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

目次

■ 2019年3Q実績	P 2~4
-------------	-------

■ 2019年最新見通し	P 5~9
--------------	-------

■ 事業別詳細 (2019年3Q実績/2019年最新見通し)	P 10~16
-----------------------------------	---------

■ 財務状況	P 17~18
--------	---------

■ サステナビリティへの取り組み	P 19
------------------	------

■ 参考資料	P 20~23
--------	---------

2019年 3Q実績のポイント

外部環境は厳しさを増すが、新製品効果と新規事業の成長により、減収減益幅は上期と比べて縮小

外部環境

- 米中貿易摩擦の長期化で世界全体の景気が減速

当社業績

- マクロ環境の悪化影響を受け、減収減益
- しかし新製品導入は計画通り、シェアも着実に上昇
- 新規事業は力強く成長
- 減収減益幅は上期に比べて縮小

(億円)	2019年 3Q実績	2018年 3Q実績	対前年
売上高	8,695	9,265	-6.2%
売上総利益 (売上総利益率)	3,899 44.8%	4,270 46.1%	-8.7%
経費	3,515	3,587	
営業利益 (営業利益率)	384 4.4%	683 7.4%	-43.7%
税引前利益	470	671	-29.9%
純利益 (純利益率)	265 3.1%	463 5.0%	-42.7%
USD	107.32	111.47	
EURO	119.27	129.63	

2019年 セグメント別PL(3Q)

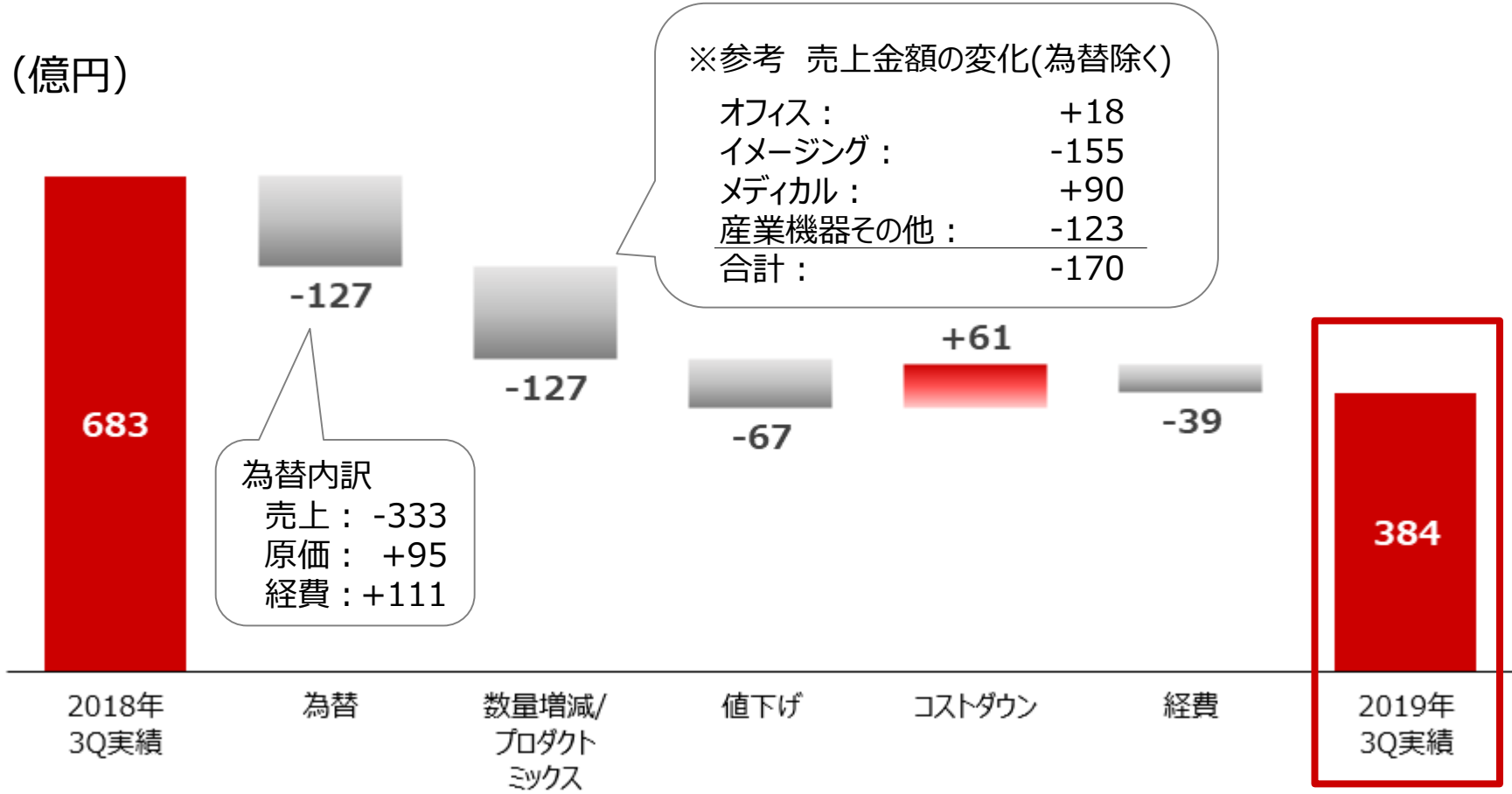
- マクロ環境の影響を受け、オフィス、イメージングは減収減益
- 新規事業のメディカルは新製品効果により増収増益

(億円)		2019年 3Q実績	2018年 3Q実績	対前年
オフィス	売上高	4,138	4,304	-3.9%
	営業利益	403	476	-15.4%
イメージング システム	売上高	1,892	2,197	-13.9%
	営業利益	101	233	-56.8%
メディカル システム	売上高	1,139	1,076	+5.9%
	営業利益	90	79	+14.6%
産業機器 その他	売上高	1,762	1,969	-10.5%
	営業利益	26	105	-75.1%
全社消去	売上高	-236	-281	-
	営業利益	-236	-210	-
連結合計	売上高	8,695	9,265	-6.2%
	営業利益	384	683	-43.7%

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

営業利益分析(3Q)対前年

- ドル・ユーロに加えて新興国通貨の下落による円高影響を受ける
- 数量増減は、メディカルとネットワークカメラが売上を伸ばすも、
 その他事業は外部環境の悪化を受けて減収



2019年最新見通しのポイント

【4Qの為替前提】

19年4Qの為替影響額
(1円の変動による影響)

平均為替レート	19年4Q	19年年間	売上	営業利益
USD/円	105.00円	107.99円	35億円	14億円
EUR/円	117.00円	121.07円	17億円	9億円

【外部環境】

- 貿易摩擦は長期化。欧州や中東情勢も不透明なことから、世界経済は減速の度合いを一層強める

【2019年見通し】

- 更なる外部環境悪化の影響を受けて見通しを引き下げ
- 一方、複合機は新製品効果により堅調、新規事業は順調に拡大、産業機器の市況にも底打ちの兆し

2019年 全社PL(年間)

- 対前年では、円高及びマクロ環境の悪化影響により減収減益
- 前回見通しからは、売上1,200億円、営業利益270億円引き下げ

(億円)	2019年 最新見通し	2018年 年間実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
売上高	36,250	39,519	-8.3%	37,450	-1,200
売上総利益 (売上総利益率)	16,230 44.8%	18,356 46.4%	-11.6%	16,818 44.9%	-588
経費	14,350	14,926		14,668	+318
営業利益 (営業利益率)	1,880 5.2%	3,430 8.7%	-45.2%	2,150 5.7%	-270
税引前利益	2,160	3,629	-40.5%	2,400	-240
純利益 (純利益率)	1,400 3.9%	2,528 6.4%	-44.6%	1,600 4.3%	-200
USD	107.99	110.43		107.37	
EURO	121.07	130.29		122.05	

2019年 セグメント別PL(年間)

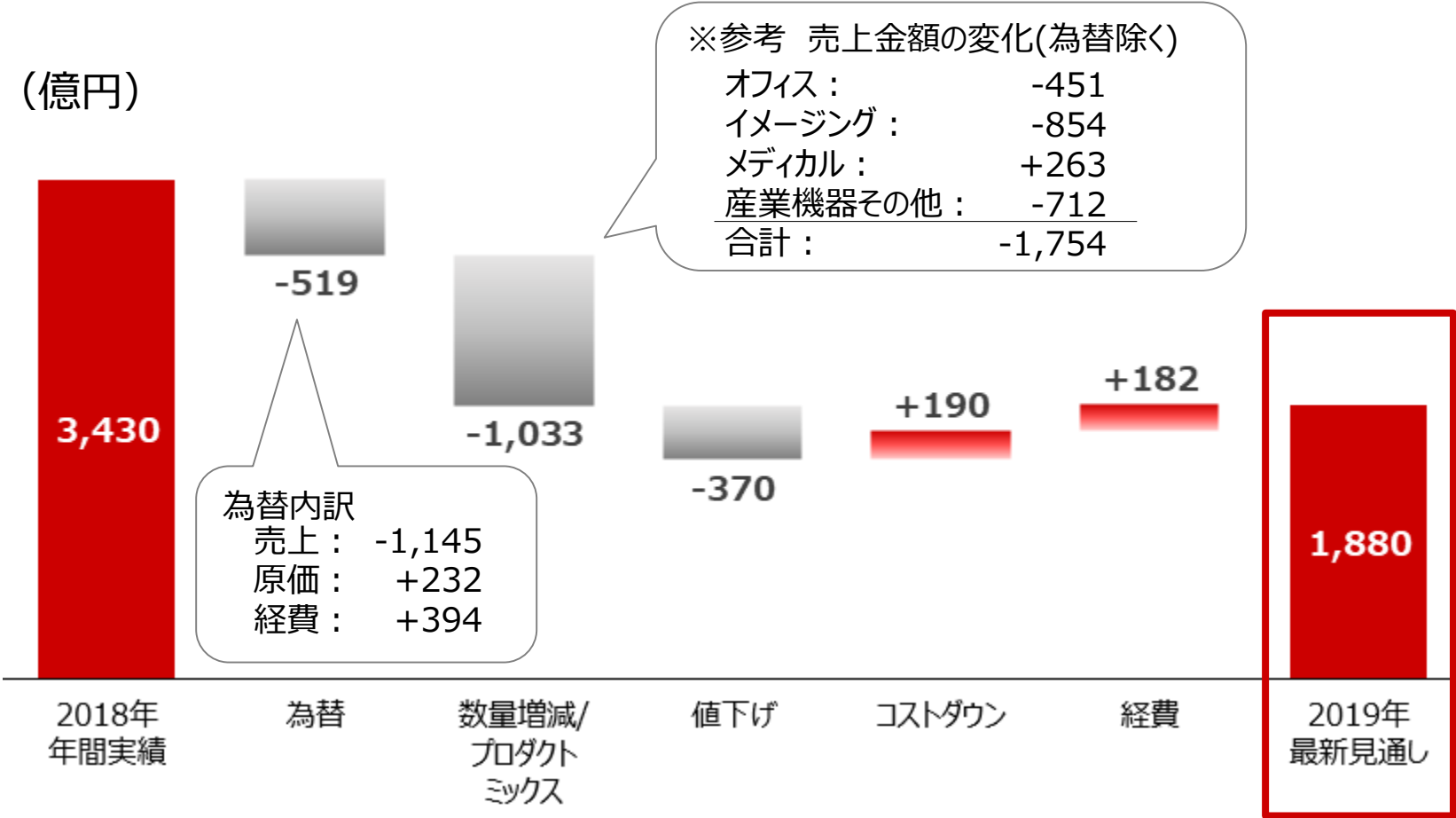
- 外部環境の影響を受けてレーザープリンターとカメラは大きく減収
- メディカルとネットワークカメラは増収増益、収益性も着実に改善

(億円)		2019年 最新見通し	2018年 年間実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
オフィス	売上高	16,990	18,073	-6.0%	17,460	-470
	営業利益	1,720	2,208	-22.1%	1,924	-204
イメージング システム	売上高	8,220	9,704	-15.3%	8,650	-430
	営業利益	508	1,267	-59.9%	630	-122
メディカル システム	売上高	4,520	4,376	+3.3%	4,690	-170
	営業利益	305	288	+5.8%	348	-43
産業機器 その他	売上高	7,480	8,429	-11.3%	7,696	-216
	営業利益	204	557	-63.4%	190	+14
全社消去	売上高	-960	-1,063	-	-1,046	+86
	営業利益	-857	-890	-	-942	+85
連結合計	売上高	36,250	39,519	-8.3%	37,450	-1,200
	営業利益	1,880	3,430	-45.2%	2,150	-270

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

営業利益分析(年間)対前年

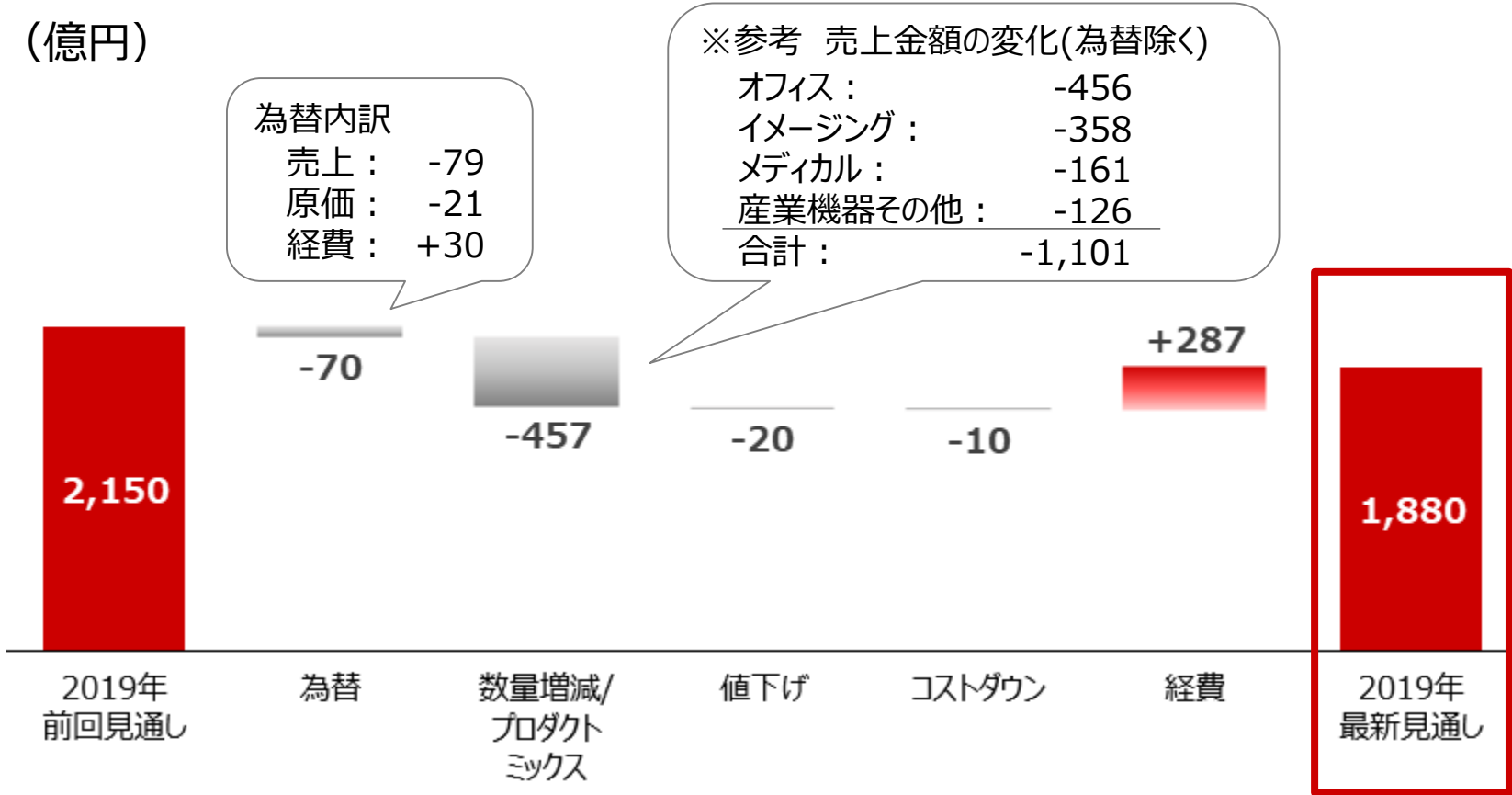
- 売上・利益共に為替の円高影響を大きく受ける
- 数量増減は、メディカル・ネットワークカメラが伸ばすも、レーザープリンターやカメラ、産業機器の減少が響いて減収



営業利益分析(年間)対前回

- 数量増減はマクロ環境減速の影響を受けて見通しを引き下げ
- 徹底した見直しにより経費の改善を図る

(億円)



オフィス（複合機）

- 上期に続き、下期も大量印刷向けプロダクション戦略機種を投入
- カラー複合機やプロダクション機等の新製品効果により、シェア向上

(億円)

	3Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
複合機	1,534	1,612	-4.9%	6,488	6,843	-5.2%	6,660	-172
LP	1,551	1,695	-8.5%	6,235	7,065	-11.7%	6,543	-308
その他	1,053	997	+5.6%	4,267	4,165	+2.4%	4,257	+10
売上高計	4,138	4,304	-3.9%	16,990	18,073	-6.0%	17,460	-470
営業利益	403	476	-15.4%	1,720	2,208	-22.1%	1,924	-204
%	9.7%	11.1%		10.1%	12.2%		11.0%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
複合機	-0.6%	-1.8%
LP	-5.0%	-9.4%
その他	+9.6%	+5.7%
合計	+0.0%	-3.0%

■ 台数伸び率

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
複合機		
モノクロ	-8%	-3%
カラー	+5%	+5%
合計	-1%	+2%



企業内印刷向けプロダクション機

『imagePRESS C165』

オフィス（レーザープリンター）

- 3Qは、消耗品が欧州景気の減速影響などを受け減収
- 本体は新興国の景気低迷で減少するも、中高速新製品は伸長

(億円)

	3Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
複合機	1,534	1,612	-4.9%	6,488	6,843	-5.2%	6,660	-172
LP	1,551	1,695	-8.5%	6,235	7,065	-11.7%	6,543	-308
その他	1,053	997	+5.6%	4,267	4,165	+2.4%	4,257	+10
売上高計	4,138	4,304	-3.9%	16,990	18,073	-6.0%	17,460	-470
営業利益	403	476	-15.4%	1,720	2,208	-22.1%	1,924	-204
%	9.7%	11.1%		10.1%	12.2%		11.0%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
複合機	-0.6%	-1.8%
LP	-5.0%	-9.4%
その他	+9.6%	+5.7%
合計	+0.0%	-3.0%

■ 台数伸び率

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
LP		
モノクロ	-12%	-13%
カラー	+9%	+3%
合計	-8%	-10%

オフィス（その他）

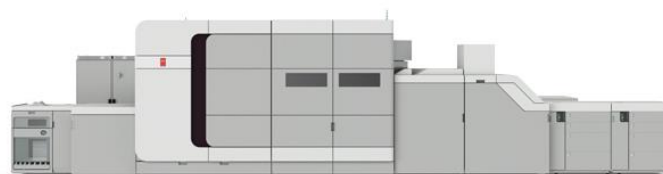
- 3Qも引き続き、メディア対応力を強化した新製品を中心に拡販
- デイラーの販売網を強化し、新製品の販売を加速

(億円)

	3Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
複合機	1,534	1,612	-4.9%	6,488	6,843	-5.2%	6,660	-172
LP	1,551	1,695	-8.5%	6,235	7,065	-11.7%	6,543	-308
その他	1,053	997	+5.6%	4,267	4,165	+2.4%	4,257	+10
売上高計	4,138	4,304	-3.9%	16,990	18,073	-6.0%	17,460	-470
営業利益	403	476	-15.4%	1,720	2,208	-22.1%	1,924	-204
%	9.7%	11.1%		10.1%	12.2%		11.0%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
複合機	-0.6%	-1.8%
LP	-5.0%	-9.4%
その他	+9.6%	+5.7%
合計	+0.0%	-3.0%



高速カットシートインクジェットプリンター
『VarioPrint i-series+』



大判プリンター
『Colorado 1650』

イメージングシステム (カメラ)

- 市場の縮小と価格競争激化により減収
- レンズのラインアップ拡充に合わせて販売促進活動を一層強化し、上位機種の販売を加速

(億円)

	3Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
カメラ	1,086	1,296	-16.3%	4,747	5,949	-20.2%	4,973	-226
インクジェット	685	770	-11.1%	2,922	3,202	-8.7%	3,095	-173
その他	121	131	-6.9%	551	553	-0.4%	582	-31
売上高計	1,892	2,197	-13.9%	8,220	9,704	-15.3%	8,650	-430
営業利益	101	233	-56.8%	508	1,267	-59.9%	630	-122
%	5.3%	10.6%		6.2%	13.1%		7.3%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
カメラ	-11.5%	-16.4%
インクジェット	-7.0%	-5.3%
合計	-9.4%	-11.6%

■ 台数伸び率 (単位: 万台)

	2019年3Q実績		2019年見通し	
	台数	伸び率	台数	伸び率
レンズ交換式	98	-7%	420	-17%
コンパクト	66	-8%	260	-18%



フルサイズミラーレス

『EOS R』

『EOS RP』

イメージングシステム（インクジェット）

- 新興国の景気減速影響を受け、大容量インクモデルの伸びが鈍化
- カートリッジモデルのラインアップを一新し、ホーム印刷の需要喚起を図る

(億円)

	3Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
カメラ	1,086	1,296	-16.3%	4,747	5,949	-20.2%	4,973	-226
インクジェット	685	770	-11.1%	2,922	3,202	-8.7%	3,095	-173
その他	121	131	-6.9%	551	553	-0.4%	582	-31
売上高計	1,892	2,197	-13.9%	8,220	9,704	-15.3%	8,650	-430
営業利益	101	233	-56.8%	508	1,267	-59.9%	630	-122
%	5.3%	10.6%		6.2%	13.1%		7.3%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
カメラ	-11.5%	-16.4%
インクジェット	-7.0%	-5.3%
合計	-9.4%	-11.6%

■ 台数伸び率

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
インクジェット	-8%	-7%



カートリッジモデル
『TSシリーズ』

メディカルシステム

- 一連の新製品効果により、3Q・年間ともに増収増益
- 厳しい外部環境を跳ね返し、業績の拡大を図る

(億円)

	3Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
売上高計	1,139	1,076	+5.9%	4,520	4,376	+3.3%	4,690	-170
営業利益	90	79	+14.6%	305	288	+5.8%	348	-43
%	7.9%	7.3%		6.7%	6.6%		7.4%	

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
合計	+8.3%	+6.0%



CT
『Aquilion ONE/
GENESIS EDITION』



MRI
『Vantage Centurian』

産業機器その他

- 露光装置は減収となるも、メモリ市況に底打ちの兆し
- 有機EL蒸着装置は需要の回復により、下期から増収に転換
- ネットワークカメラは高精細・高感度の強みを活かして成長を継続

(億円)

	3Q			年間				
	2019年 実績	2018年 実績	対前年	2019年 最新見通し	2018年 実績	対前年	2019年 前回見通し	対前回
露光装置	323	443	-27.0%	1,594	1,998	-20.2%	1,631	-37
その他	1,439	1,526	-5.7%	5,886	6,431	-8.5%	6,065	-179
売上高計	1,762	1,969	-10.5%	7,480	8,429	-11.3%	7,696	-216
営業利益	26	105	-75.1%	204	557	-63.4%	190	+14
%	1.5%	5.3%		2.7%	6.6%		2.5%	

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

■ 対前年売上伸び率(現地通貨)

	2019年 3Q実績	2019年 見通し
露光装置	-26.3%	-19.7%
その他	-3.3%	-6.6%
合計	-8.5%	-9.7%

■ 露光装置台数 (単位：台)

	2019年 3Q実績	2018年 3Q実績	2019年 見通し	2018年 実績
半導体	22	25	86	114
FPD	10	15	51	69

在庫の状況

- イメージングシステムは、年末にむけて在庫水準の引き下げを図る
- 産業機器その他は、今後の拡販に向けて在庫を積み増し

(金額：億円)

		2018年				2019年		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
オフィス	金額	2,075	2,099	2,246	2,061	2,152	2,058	2,011
	日数	41	42	46	42	44	44	44
イメージングシステム	金額	1,405	1,452	1,738	1,396	1,562	1,516	1,569
	日数	47	57	67	50	62	73	73
メディカルシステム	金額	804	860	893	906	938	930	923
	日数	66	74	80	73	75	79	77
産業機器その他	金額	1,601	1,583	1,727	1,750	1,857	1,807	1,840
	日数	73	75	86	91	101	103	105
合計	金額	5,885	5,994	6,604	6,113	6,509	6,311	6,343
	日数	52	56	62	56	62	65	65

※ 放送機器やシネマ用ビデオカメラなどのビジネスの2018年実績については、イメージングシステムから産業機器その他へ組替えを行っております。

キャッシュフロー(年間)

- 前回見通しからフリーキャッシュフローを引き下げるも、流動性は問題のない水準を確保

(億円)	2019年 最新見通し	2019年 前回見通し	2018年 実績
営業活動によるキャッシュフロー	3,800	4,500	3,653
投資活動によるキャッシュフロー	-2,200	-2,400	-1,956
フリーキャッシュフロー	1,600	2,100	1,697
財務活動によるキャッシュフロー	-2,250	-2,300	-3,549
為替変動影響	-156	-106	-160
現預金の純増減額	-806	-306	-2,012
現預金の期末残高	4,400	4,900	5,206
手元回転月数	1.4	1.5	1.6
設備投資	1,650	1,650	1,593
償却費	2,300	2,300	2,516

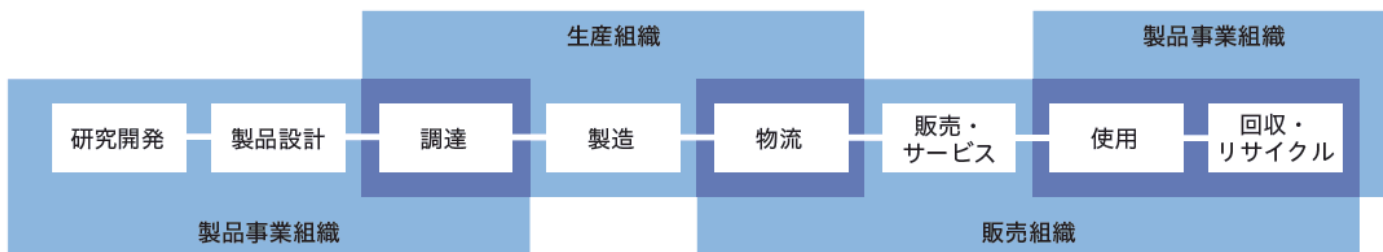
サステナビリティへの取り組み 環境分野での活動と成果

■ 中期環境目標の達成状況

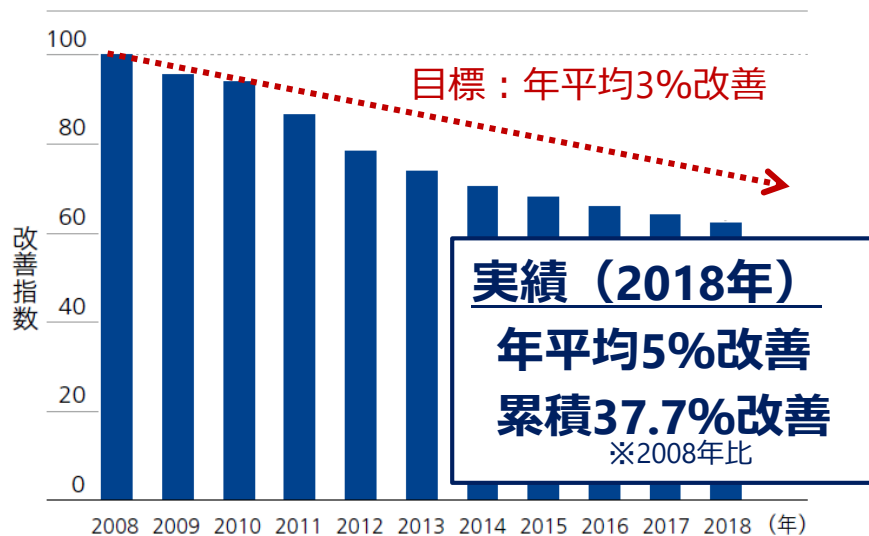
【指標】 製品1台当たりのライフサイクルCO2：年平均3%改善

【範囲】 製品ライフサイクル全体

**2030年には
累積で50%改善**
※2008年比



【進捗状況】



※ 2008年を100とした場合。

【主な施策】

省エネ



使用時CO2
50%削減
従来機種比



使用時CO2
47%削減
従来機種比

小型軽量

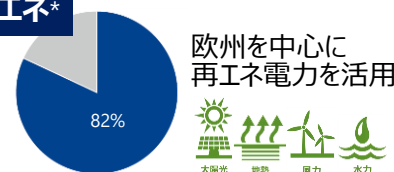


リサイクル



トナーカートリッジ自動リサイクルシステム(CARS-T)

再エネ*



*使用電力に占める再生エネルギー由来電力(欧州)



地下水熱利用空調システム (オセ社)

參考資料

■ハード/ノンハード別 対前年売上伸び率

		2019年		2018年	
		3Q 実績	年間 見通し	3Q 実績	年間 実績
複合機					
円貨	ハード	-4%	-5%	-3%	-1%
	ノンハード	-6%	-6%	-1%	-1%
LC	ハード	+1%	-1%	-3%	-2%
	ノンハード	-2%	-2%	-1%	-2%
LP					
円貨	ハード	-2%	-7%	+1%	+1%
	ノンハード	-13%	-15%	+1%	-1%
LC	ハード	+2%	-5%	+1%	+1%
	ノンハード	-9%	-12%	+1%	-1%
インクジェット					
円貨	ハード	-13%	-6%	+4%	-3%
	ノンハード	-10%	-10%	-5%	-5%
LC	ハード	-9%	-2%	+5%	-3%
	ノンハード	-6%	-7%	-4%	-5%

■ カラー比率

		2019年		2018年	
		3Q 実績	年間 見通し	3Q 実績	年間 実績
複合機	売上高	59%	60%	58%	59%
	台数	60%	59%	56%	58%
LP	売上高	52%	52%	52%	51%
	台数	23%	21%	19%	18%

■ 複合機 モノクロ/カラー別 対前年売上伸び率

		2019年		2018年	
		3Q 実績	年間 見通し	3Q 実績	年間 実績
円貨	モノクロ	-7%	-6%	-4%	-3%
	カラー	-4%	-4%	-1%	0%
LC	モノクロ	-3%	-3%	-4%	-3%
	カラー	+1%	-1%	0%	-1%

■ レンズ交換式カメラ比率

	2019年		2018年	
	3Q 実績	年間 見通し	3Q 実績	年間 実績
金額ベース	84%	85%	85%	85%
台数ベース	60%	62%	60%	61%

※金額ベースには交換レンズも含む

■ 半導体露光装置台数 光源別内訳

(単位：台)

	2019年		2018年	
	3Q 実績	年間 見通し	3Q 実績	年間 実績
KrF	1	22	6	32
i線	21	64	19	82
合計	22	86	25	114